

具体的な場所に関する意見

具体的な場所に関する意見のまとめ方

平成15年春以降、各地でオープンハウス、車座集会を実施し、具体的な場所に関連する課題、提案など、数多くの意見をいただきました。

ここでは、これまでに寄せられた意見のうち、具体的な場所に関して言及している全ての意見を取りあげて、区間ごとに整理し、沿川の図面上に示しました。これは、皆さんの即地的なニーズを表すものであり、課題を解決するために、具体的にどのような対策を施すべきかを検討するのに非常に有効な情報です。



空間区分

- 区間1：河口～大当郎橋付近
- 区間2：大当郎橋～枇杷島橋付近
- 区間3：枇杷島橋～勝川橋付近
- 区間4：勝川橋～下志段味橋付近
- 区間5：下志段味橋～玉野堰付近
- 区間6：玉野堰～記念橋付近
- 区間7：記念橋～三共橋付近
- 区間8：矢田川合流点～宮前橋付近

流域別

(流域全体／下流域／中流域／上流域／上中流域)

とりまとめた意見の見方

次頁以降で、空間区分ごとに整理した意見を、さらに概ねのエリアごとに分類して示しました。

各エリアに関する意見は同じ内容どうしで束ね、「意見の主旨」としてとりまとめています。また、計画づくりに反映しやすいように、同様の「意見の主旨」を集め、それぞれタイトルをふっています。

「■治水対策」のように太い色文字で書かれているのが「タイトル」です。

「◇洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。」のように「タイトル」と同じ色文字で書かれているのが「意見の主旨」を集約した「集約意見主旨」です。

「●」で始まるのが、意見を取りまとめた「意見の主旨」です。なお、極力原文に忠実にとりまとめています。

治水対策

◇洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。(18)

- 土砂の堆積が心配。掘削は継続して行ってほしい。
- 河床が高いのが心配。
- 川幅が狭いため、洪水が不安。
- 特定の地区(西枇杷付近)だけでなく、流域全体の問題として捉えて対策を施すべき。
- JRの橋梁付近の工事がまだ済んでいないので不安。
- 東海豪雨で堤防が溢れそうになったので心配。
- 堤防を高くしてほしい。
- 橋梁高が不足しているため、洪水の要因にならないか不安。

◇堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。(15)

- 堤防の石垣から水が噴き出すのが心配。
- 地震時の堤防や堤内地の液状化が心配。軟弱な地盤だということを考慮して対策を行ってほしい。
- 名鉄橋梁付近の堤防は大雨のたびに心配になる。
- 自然の摂理で堤防がえぐられてしまう。
- 堤防の水が台風などで揺すられて、堤防に影響を与えないか心配。

◇右岸と左岸で堤防高が違うのが納得できない。(2)

◇右岸側が犠牲になるのは昔からのことなので、仕方がないと思う。【小田井】

◇流域の保水能力を高めるべき。(2)

◇人工的ではなく、自然を生かした工法にするなどの工夫してほしい。(2)

「集約意見主旨」の後についている(数字)が元の意見の数です。1つしか意見がない場合には数値の記述はありません。

【括弧】内の地名等は、エリア内の特に具体的な場所について意見があることを示していて、そのうちの代表的な箇所を示しています。地名についても、極力原文に忠実にとりまとめています。

...